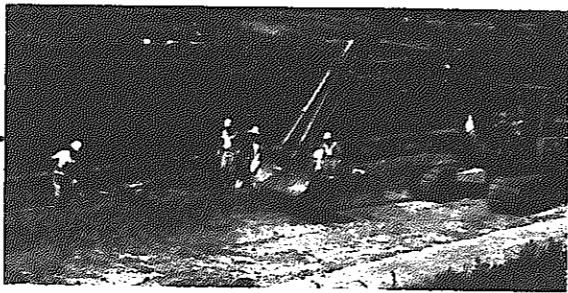
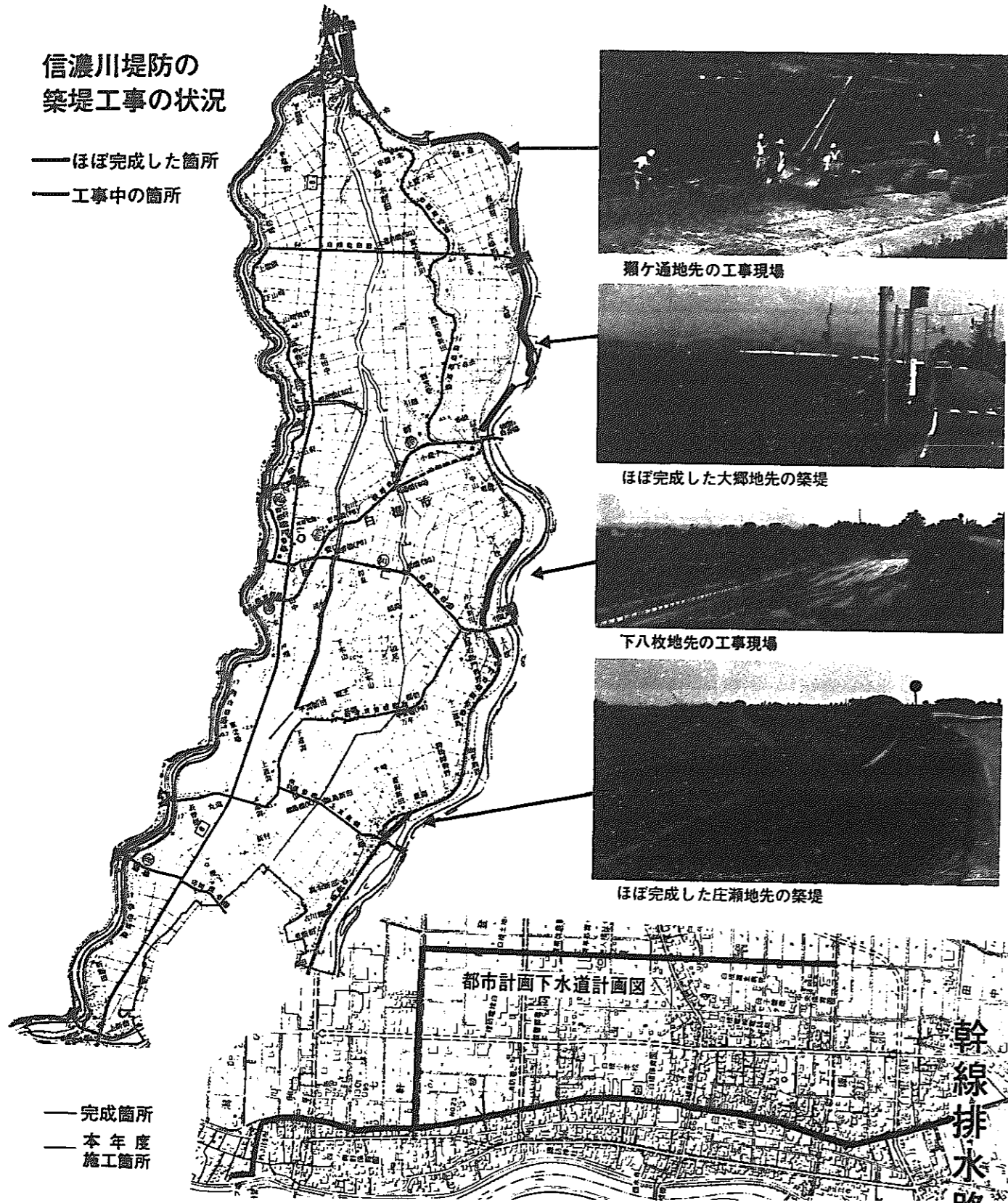
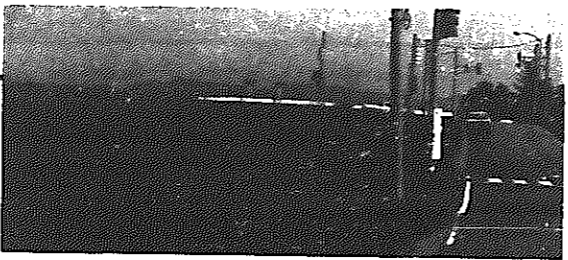


信濃川堤防の築堤工事の状況

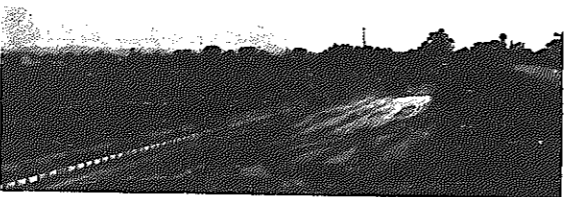
— ほぼ完成した箇所
— 工事中の箇所



瀬ヶ通地先の工事現場



ほぼ完成した大郷地先の築堤



下八枚地先の工事現場



ほぼ完成した庄瀬地先の築堤



幹線排水路整備も進む

— 完成箇所
— 本年度施工箇所

- 昭和45年から進めてきた「白根都市計画下水道事業」が順調に進んでいます。当時、幹線排水路付近の家屋は、豪雨のために床下浸水し対策が望まれていました。本年度までの実施概要は次のとおり。
- ▽44年度 西幹線、東幹線、幹線ポンプ場の新設、整備事業が建設大臣から計画決定を受ける。集水面積は230㌥
 - ▽45年度 用地買収、物件移転補償
 - ▽46年度 ポンプ場建設に着手、用地買収、物件移転補償
 - ▽47年度 ポンプ場建設ほか
 - ▽48年度 ポンプ原動機設置ほか
 - ▽49年度 ポンプ原動機設置ほか
 - ▽50年度 ポンプ原動機設置、西幹線67・5㌥を工事
 - ▽51年度 西幹線117㌥を工事
 - ▽52年度 西幹線582・7㌥を工事
 - ▽53年度 西幹線524・0㌥ほか工事
 - ▽54年度 西幹線584・3㌥ほか工事
 - ▽55年度 西幹線149・3㌥、東幹線235・6㌥、ポンプ原動機設置ほか
 - ▽56年度 東幹線522・2㌥ほか工事
 - ▽57年度 東幹線415・6㌥ほか工事
 - ▽58年度 東幹線275・3㌥ほか工事
 - ▽59年度 東幹線244・4㌥ほか工事
 - ▽60年度 東幹線78・5㌥、ポンプ原動機設置ほか
 - ▽61年度 西幹線158・0㌥、東幹線66・0㌥ほか工事
 - ▽62年度 西幹線約200㌥ほか工事
- 合計ポンプ原動機450台、同1000台、西幹線約2500㌥、東幹線約1900㌥ほかで総事業費は22億1070万円の予定



恐ろしい水の浸入を防ぐ

堤防低部対策は四一%完了 大野大橋下流は本年度着工

私たちの生命や財産を守るために建設省信濃川下流工事事務所では、信濃川下流（大津分水路から下流）の河川管理に当たっているわけですが、そのうち、本市に關係する事業で、現在進められているものに ①堤防低部対策 ②信濃川・中ノ口川合流点処理 ③特定構築物改修事業——の三本柱があります。

堤防低部対策事業

堤防低部対策とは、信濃川・中ノ口川合流点から庄瀬橋までの堤防切り下げ箇所を復元するために、行う築堤工事、昭和五十五年から用地買収、物件補償に入り、順次取り組んできました。その結果、工事必要箇所全長十三・八㌥のうち、大郷、白井、戸石、庄瀬の各地先で約五・七㌥、四一%が完成しています。本年度はさらに瀬ヶ通、下八枚

信濃川 合流点処理

信濃川・中ノ口川合流点処理は同合流点の無堤地や弱小堤の解消のため、昭和五十九年度から用地買収などに取り組んできたもので本年度からは、中ノ口川の大野大橋から下流の本市側の築堤工事に着手する予定となっています。

特定構築物 鷺ノ木水門は来年度完成

特定構築物改修事業として進められている鷺ノ木水門の改築工事は、昭和三十一年に設置した現在の水門が使用に耐えなくなったため、今後の大出水に備え、現在位置より約二十㌥上流に改築することに決定。六十一年度から六十三年度までの三か年計画で進められています。

水防体制は万全です

六月十日に開かれた白根市水防協議会で審議された第一次から第三次までの非常招集基準や、信濃川、中ノ口川沿いの重要水防箇所を含む六十二年の水防計画が、県知事の承認を受けました。今後この計画に基づいて水防に万全を期すことにしています。



水防協議会委員の委嘱状を手渡す市長

水防技術講習会を開く

七月三日、信濃川下流水防連絡会は、黒崎町山田地内で「水防技術講習会」を開きました。同連絡会は、建設省信濃川下流水防事務所、新潟、巻土木事務所、本市を含む沿線市町村で組織されており、出水に備えて水防に関する情報交換などを行っています。



土のうの積み方の訓練